

日本質量分析学会 同位体比部会2022

日 時： 2022年12月12日（月） 9：50～20：05

12月13日（火） 9：00～17：00

会 場： 起雲閣（静岡県熱海市）

日付	開始時刻	終了時刻	講演時間	内容	発表者	所属	題目
12月12日（月）	9:00	9:50	0:50	会場準備			
	9:50	10:00	0:10	開会ご挨拶			
	10:00	10:25	0:25	口頭：1	田邊 路紗アイディーン	北海道大学	Vigarano隕石中の凝縮物CAIにおけるAl-Mgシステムティクス
	10:25	10:50	0:25	口頭：2	大槻 悠太	北海道大学	イオン注入したHe, Ne, Ar同位体の同時深さ方向分析
	10:50	11:15	0:25	口頭：3	小長谷 智哉	北海道大学	イトカワ粒子に打ち込まれた太陽風ヘリウムの微小領域三次元分布
	11:15	11:25	0:10	ブレイク			
	11:25	11:50	0:25	口頭：4	山本 順司	九州大学	ラマン分光質量分析法は使いものになるか
	11:50	12:15	0:25	口頭：5	伊藤正一	京都大学	二次イオン質量分析計を用いて分子種を選択した水素分析は可能か？
	12:15	13:15	1:00	特別講演	植田 千秋 先生	大阪大学	ハンドマグネットで目指す"固体粒子クロマトグラフィ"
	13:15	14:30	1:15	昼休み			
	14:30	14:55	0:25	口頭：6	Qi Yuanzhi	東京大学	Speciation distribution of radioiodine (129I) in the subarctic Pacific Ocean
	14:55	15:20	0:25	口頭：7	野村 雅夫	東京工業大学	Triton XT 質量分析計によるセシウムおよびウランの同位体比測定について
	15:20	15:30	0:10	ブレイク			
	15:30	16:15	0:45	ワークショップ	サーモフィッシャーサイエ ンティフィック株式会社		・ MC-ICP-MS Neoma 紹介 ・ 最新のOrbitrap同位体比質量分析計 紹介
	16:15	16:25	0:10	ブレイク			
	16:25	16:50	0:25	口頭：8	福島 菜奈絵	東京大学	太古代カンラン岩の希ガスから探る地球形成初期のマントル脱ガスと交代作用
	16:50	17:15	0:25	口頭：9	小林 英史	弘前大学	磐城海山におけるFe-MnクラストのOs同位体層序年代とその他年代測定法との比較
	17:15	17:40	0:25	口頭：10	丁 璣天	名古屋大学	NO ₃ -のΔ17Oを指標に用いた総硝化速度定量法の近年の進展と森林総硝化速度定量における問題点
	17:40	18:05	0:25	口頭：11	角皆 潤	名古屋大学	ドローンを用いた噴気孔別噴煙採取と遠隔噴気温度推定への応用
	18:05	20:05	2:00	ポスターセッション			
				(ポスター発表)	王 榮之	東京大学	Development of LPD Aided AMS System for Environmental 90Sr Detection
					Yang qiuyu	東京大学	Vertical distribution analysis of 129I concentrations in the Canadian Basin in 2021-2022
					井上 裕貴	九州大学	ラマン分光法による酸素同位体比は測定可能か
					川崎 教行	北海道大学	リュウグウおよびイヴナ隕石中の無水一次鉱物の高精度局所酸素同位体分析
					山崎 忠勝	北海道大学	Allende隕石の複合CAIの酸素同位体分布
					丸岡 照幸	筑波大学	局所親銅元素組成をもとにした古環境変動解析
					河野 彩香	琉球大学	沖縄県辺戸岬におけるエアロゾル中のSrとPb同位体比
				佐々木 聡史	名古屋大学	石灰質微化石の酸素・炭素同位体分析に基づく最終氷期以降の東南極沿岸域の古環境復元に向けて	
				(追加予定)			
	(19:30	20:00	0:30	世話人会)			
12月13日（月）	9:00	9:25	0:25	口頭：1	稲田 菜里	東京大学	宇宙化学への応用をめざした遷移状態理論に基づく蒸発速度および同位体効果の導出
	9:25	9:50	0:25	口頭：2	鍵 裕之	東京大学	光学異性体を含んだアラニン2量体及び3量体の異性体分析
	9:50	10:15	0:25	口頭：3	日高 洋	名古屋大学	中性子捕獲反応による希土類元素の同位体変動：地球外物質とオクロ天然原子炉の比較
	10:15	10:40	0:25	口頭：4	南 雅代	名古屋大学	溶存無機炭素の放射性炭素分析に及ぼす塩化ベンザルコニウム添加の影響
	10:40	10:50	0:10	ブレイク			
	10:50	11:15	0:25	口頭：5	増田 雄樹	東京工業大学	TIMSを用いた高精度Ca同位体測定法の検討
	11:15	11:40	0:25	口頭：6	大熊 悠介	東京工業大学	アルカリ融解法によるコンドライト中のCrおよびTi同位体組成の決定
	11:40	12:40	1:00	特別講演	坂本 尚義 先生	北海道大学	"We are always on the frontier."
	12:40	14:00	1:20	昼食休み			
	14:00	14:25	0:25	口頭：7	Chao ZHANG	東京大学	Design and simulation for a Sr-90 analysis apparatus based on quadrupole mass spectrometry, ion guide and ion trap
	14:25	14:50	0:25	口頭：8	寺林 稜平	東京大学	光共振器強化型レーザー吸収分光に基づく放射性同位体分析法の開発
	14:50	15:00	0:10	ブレイク			
	15:00	15:25	0:25	口頭：9	栗原 かのこ	東京大学	飛行時間型ICP-MSを用いた微粒子分析と隕石試料への応用
	15:25	15:50	0:25	口頭：10	仁木 創太	東京大学	LA-ICP-MS/MSを用いたモナズ石U-Th-Ra放射非平衡年代測定法の開発
	15:50	16:30	0:40	ビジネスミーティング+閉会挨拶			
	16:30	17:00	0:30	会場片付け			